目 次

序 章	北海道で平和について考えるということ	1
1	植民地の〈におい〉がする	1
2	〈存在の抹殺〉の反省からアイヌ新法を考える	2
3	ウポポイから考える〈民族共生〉問題	3
4	コロナ禍と本書の課題	5

第 I 部 現在をとりまく諸問題

第 1 章	「奨学金」という名の借金	8
1	学生の「2.7人に 1 人」が日本学生支援機構の貸与奨学生	8
2	貸与奨学金と奨学金被害、そして給付奨学金	10
3	教育を受ける権利と奨学金	16
第 2 章	貧困・学力と北海道の教育	18
1	現場の教師の語りから	18
2	「学力」は個人のものだろうか	19
3	未来をえがく共同の力としての学力へ	24
第 3 章	学生アルバイト問題から考える職場の「平和」のつくり方	26
1	荒廃した職場と私たちの課題	26

- 2 キャンパスライフに占める高いアルバイト割合と、
その今日的な背景 27
- 3 学生が直面するアルバイト問題 28
- 4 いったい何が問題？ 31
——労働法に照らして問題を考えてみる
- 5 問題の解決に向けて 33
——就職活動やキャリア教育・学習を豊富化してみる

第 4 章 ジェンダーの視点からみた北海道の労働と生活…… 37

- 1 「代表者は男性」か？ 37
- 2 ジェンダー統計からみえる労働問題 39
- 3 統計的差別とジェンダー概念 42
- 4 ジェンダーと労働のこれから 44

コラム① ジェンダーに基づく暴力と北海道…………… 45

第 5 章 技能実習生の労働…………… 47

- 1 「移民国家」日本 47
- 2 「サイドドア」からの外国人「非熟練」労働者の受け入れ 47
- 3 全国と北海道の受入実態 49
- 4 「現代の女工哀史」 50
- 5 人権侵害の原因 52
- 6 入管政策の転換 53
- 7 技能実習制度の廃止 54

第 6 章 災害を生きる…………… 55

- 1 災害と平和 55
- 2 北海道の災害 56
——有珠山噴火・胆振東部地震・新型コロナウイルス
- 3 災害とともに生きる 62

第 7 章	安保法制・新防衛大綱の下で進む演習場化と 北海道の未来	65
1	日常的光景の中にある自衛隊	65
2	道内の自衛隊	65
3	安保法制・18大綱と北海道	67
4	オスプレイが参加する日米共同訓練の拡大化と北海道の未来	69
第 8 章	北海道と自衛隊 PKO	71
1	北海道から海外 PKO へ	71
2	アフリカで国際貢献	71
3	揺らぐ PKO 参加 5 原則	73
4	現場で何が起こっていたのか	75
5	問われる派遣の正当性	76
	コラム② 平和的生存権の実現を求める国際支援活動	79

第 II 部 歴史からの視点

第 9 章	グローバルヒストリーの中の北海道史	82
1	はじめに	82
2	産業革命、国民国家、資本主義、日本版植民地北海道の始まり	82
3	北海道の土地は誰のものか？ 土地に対する法制	85
4	宝の山 北海道へ	86
5	アイヌはなぜ屈服させられたのか？	87
6	アイヌ政策と和人のアイヌ観	88
7	急速な近代化のためのいのちの代償	90
8	まとめ	90

第10章 ライフストーリーからみる北海道の近代…………… 92

- 1 はじめに 92
- 2 男性のライフストーリー 93
- 3 女性のライフストーリー 96
- 4 ま と め 100

第11章 朝鮮人戦時強制動員と北海道…………… 101

- 1 問題の所在——北海道における植民地などからの戦時強制動員 101
- 2 日韓国交正常化により置き去りにされた被害者の人権 102
- 3 「1965年体制」を克服するために 105

コラム③ 死者の声を聞く——朱鞠内「強制労働犠牲者歴史資料館」の再生を…… 109

第12章 北海道を脱植民地化する…………… 111

- 1 まず相手の声を聴くことから 111
- 2 植民地化の「歴史」を知る 112
- 3 大学の植民地責任 113
- 4 〈アイヌ文化〉の影に隠される歴史と先住権 115
- 5 先住権を回復する 116
- 6 大地とつながり直す 117

【補章】 アェイヌ民族として生きることと尊厳の恢復…………… 121
——葛野次雄さん（静内アイヌ協会会長）インタビュー

コラム④ 進みゆく世に歩をならべる——ちりゆきえ知里幸恵のアイヌ宣言…………… 127

第Ⅲ部 将来へのまなざし

第13章	北海道の産業の移り変わりと交通	130
1	北海道の産業発展と交通	130
2	鉄路の衰退	132
3	伸びる観光産業	133
4	これからの北海道観光に向けて	134
	コラム⑤ ニセコの今	138
第14章	6次産業化の可能性と北海道ブランド化	140
	——成長・拡大なき時代における6次産業化のかたち・方向性を考える	
1	6次産業化の意味と目的	140
2	北海道における6次産業化の実態	141
3	成長・拡大なき時代に求められる6次産業化のかたち・方向性	143
4	北海道ブランド化に向けて	145
	コラム⑥ ヒグマと平和に暮らせる未来へ	149

あとがき